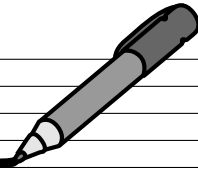


# 編集後記



■先日、大学に図書館の市民利用の申込に行ったところ、春休みにもかかわらず多数の学生がいました。自分も2、3年前には大学生でしたから、「まあ、この中を歩いてもそんなに違和感はないやろ」と思ったんですが、入ってみると段々足早になる自分がいました。

それもそのはず、どうやらその日は新入生向けの説明会が行われていたようで、周りにいるのはついこの間まで高校生。さすがに10歳近く年下に囲まれているのは落ち着きません。

気恥ずかしさを感じながら、何とか手続を終わらせて大学を後にしました。(Y. N)

■市町村課に来てから2年が経ち、私の本来の職場である市役所に戻る時期がやってきました。

異動を前に、荒れ放題の机の上の書類を一つずつファイルに綴じたりしていると、勉強のために印刷した資料やメモ等々が発掘され、ふと手が止まってしまいます。実際、何を調べるための資料なのか分からなかったり、メモの字が読めなかったりしますが、自分が市町村課に在籍していた証のような気がします。

この証し以外にも市町村課で得たことは、数多くあります。それらすべてを、今後の自

分の仕事で参考にできれば、と思っています。

本当に周囲の皆さんに感謝感謝です。ありがとうございました。(H. S)

■春の気温は、三寒四温と言うように気温の変化が激しい日が続きますが、そんな中でも着実に春は、やってきます。桜をはじめ、冬の間、葉を落とし色のない木々達が芽吹き色づき始めました。まるで厳しかった冬に別れを告げるように一斉に…

何故か日本人は、桜の花に特別な思いをもつようですが、それは、もしかしたら新しい始まりの季節の訪れとともに咲くあの淡い色が何とも言えず好まれるのでしょうか？

この号が発行される頃には、もう桜も散ってしまっているかもしれませんが、皆さんの今年のお花見は、いかがでしたか？

(T. N)

編集庶務は大阪府総務部市町村課  
総務・企画グループで行っています。

〒540-8570

〔府庁の専用郵便番号ですので、  
住所の記載が省略できます。〕

☎ 06-6941-0351 (内線2228)

06-6944-6096 (市町村課直通)

## サマージャンボ宝くじ

## オータムジャンボ宝くじ

～市町村のまちづくりに役立っています～

月刊「自治大阪」の発行は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用しています。

